

総合的な学習の時間「全体計画」の見直し

資質・能力とその構成要素

国が示す資質・能力	資質・能力を構成する要素
知識及び技能	知識
	技能
思考力、判断力、表現力等	探究的な学習の良さ
	課題設定
	情報収集
学びに向かう力、人間性等	まとめ・表現
	自己理解・他者理解
	主体性・協働性
	社会参画・将来展望

国立教育政策研究所の『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料では、評価規準をつくるうえでそれぞれ3つの資質・能力を構成する要素が整理されました。本校も同様に、それぞれの「資質・能力を構成する要素」をそれぞれ10に整理しました。

カテゴリ(出会わせたい人・もの・コト)と探究課題を整理

カテゴリ	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
探究課題	府中市にある人・もの・コトと自分との関わりについての課題	給食から出るごみや地域のクリーンセンターに集められるごみについての課題	踏田のどんぼうや存続に関わる地域に根差した「食」についての課題	備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組についての課題	世界の様々な課題と持続可能な社会を創るための考え方の課題	働く人の思いや願いについての課題	日常生活の中で生まれた疑問や自分が興味関心のあることに関する課題

設定したカテゴリに関わって、本校が目指す探究の力についてまとめました。9年生の個人探究をゴールとし、検証の視点を取り入れた「実践」を意識した探究を目指しています。

3学年

4学年

5学年

6学年

7学年

8学年

9学年

探究の過程を知る

(課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現)

探究のステップを知る

(課題の解決が図れたかどうかの“検証”の大切さ)

複数人での探究①

(SDGs 17の達成目標でチームを組む)

複数人での探究②

(体験事業所ごとにチームを組む)

個人探究

(卒業論文)

府中市立府中学園 総合的な学習の時間推進計画 全体計画		学習教育目標 私たちがつくる「あつたかい府中学園」							
<p>目的の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会参画力 ○学習基本力 ○学校生活力 	<p>本校の総合的な学習の時間の目標</p> <p>探究的な学習を通して、地域の人・もの・コトに関わる探究的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の考えを表現することができるようにする。以下の資質・能力を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる機会を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 2) 地域の人・もの・コトの関わりの中から、課題を抽出し、その解決に向けて情報を収集し、調査して得た情報を整理・分析し、まとめ・表現する力を身に付ける。 3) 地域の人・もの・コトについての探究的な学習に主体的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自分の生き方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。 	<p>授業の実践</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己有用感が高い。 2) 集団の中で適切な人間関係を形成する力が不足している。 3) 基礎的・基本的な学力が十分に身に付いていない。 							
<p><目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力></p>									
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
探究課題			府中市にある人・もの・コトと自分との関わりについての課題	給食から出るごみや地域のクリーンセンターに集められるごみについての課題	踏田のどんぼうや存続に関わる地域に根差した「食」についての課題	備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組についての課題	世界の様々な課題と持続可能な社会を創るための考え方の課題	働く人の思いや願いについての課題	日常生活の中で生まれた疑問や自分が興味関心のあることに関する課題
資質・能力	知識及び技能	知識	探究的な学習を通して、○(学習対象)についての知識・技能が身に付くことに気付いている。	複数の方法を使ってスムーズに情報収集している。 【情報収集場面】	目的や内容に応じて情報を適切に収集している。 【情報収集場面】	必要な情報を収集するときに、聞き出した内容を整理・分析している。 【情報収集場面】	集めた情報を、状況に応じて思考ツールを使い分けながら整理・分析している。 【整理・分析場面】	集めた情報を、状況に応じて思考ツールを使い分けながら整理・分析している。 【整理・分析場面】	課題を解決するための方法を見つけたら、持ち帰った情報について様々な視点から効果的に分析している。 【整理・分析場面】
思考力、判断力、表現力	課題設定	探究的な学習のよさの理解	出会った探究課題をもとに、調べたい課題を設定している。	調べたい情報についての複数の収集方法を試している。	調べたい情報について複数の収集方法を試している。	調べたい情報について複数の収集方法を試している。	調べたい情報について複数の収集方法を試している。	調べたい情報について複数の収集方法を試している。	調べたい情報について複数の収集方法を試している。
学びに向かう力、人間性等	自己理解・他者理解	主体的に学習に取り組む態度	【自己理解・他者理解】 自分のよさや強みに気付いている。	【自己理解・他者理解】 相手のよさや強みを尊重し、受け入れようとしている。	【自己理解・他者理解】 相手のよさや強みを尊重し、受け入れようとしている。	【自己理解・他者理解】 相手のよさや強みを尊重し、受け入れようとしている。	【自己理解・他者理解】 相手のよさや強みを尊重し、受け入れようとしている。	【自己理解・他者理解】 相手のよさや強みを尊重し、受け入れようとしている。	【自己理解・他者理解】 相手のよさや強みを尊重し、受け入れようとしている。
	社会参画・将来展望	社会参画・将来展望	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。	【社会参画・将来展望】 学習を振り返り、自分のよさに気付く。学びを日常生活につなげ、社会に参画しようとしている。

この度、府中市教育研究会「総合的な学習の時間部会」では、一年間を通して各校小中一貫でつながるように全体計画の見直しをしました。資質・能力の再整理、観点の構成要素の統一、9年生(中学3年生)を目標とする発達段階に応じた評価の工夫、それら見直し作業全てのモデルとなったのが、本校の全体計画です。

令和6年度からは、4学園が市内で統一された新しい全体計画のもとに学習をスタートさせ、小中一貫教育の特徴を生かした学びを創り上げていきます。



学び続ける児童生徒の育成

～探究的な学習の単元開発・実践を通して～

府中市立府中学園



PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、

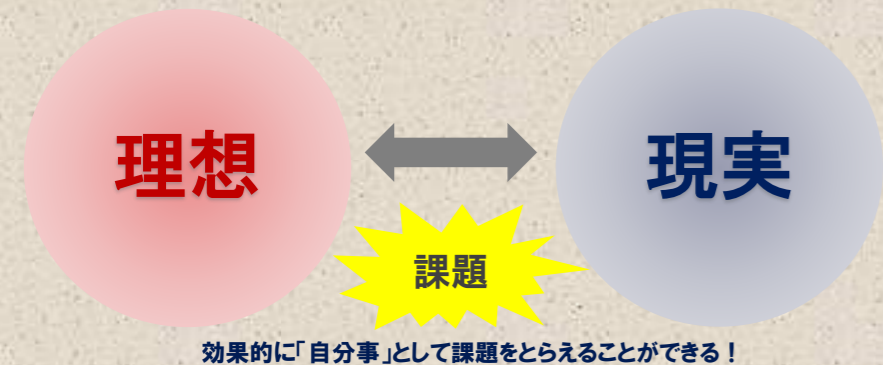
総合的な学習の時間の単元開発・改善・実践

本校の課題

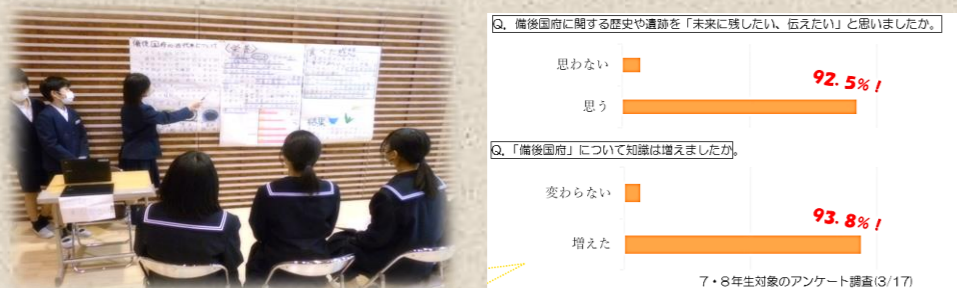
学習が活動主義であったり、課題との出会わせ方の工夫が不十分であったりしたため、課題設定が児童生徒主体になっていないことでした。そのため、課題を自分事としてとらえることができず、真の探究的な学習になっていないという課題がありました。

本校の課題を解決するために取り入れた3つのコト

① 「理想」と「現実」のズレから課題を見つけ出す



② 設定した課題の解決が図れたかの「検証」の視点を取り入れる



活動をしたり調べたりしたことを発表して終わりにするのではなく、自分たちが設定した課題は達成できたかどうか？検証する！

③ 「教師主導」ではなく、教師はファシリテーターになる

- ▲想定外の考えが出たら…。
方向性を修正することができるのか不安。
→児童に委ねられない。
- ▲児童の発言を待たず、教師が考えた流れに最短距離で誘導したり、提案したりして引っ張ってしまう。
→教師主導の授業。
- ▲教師の指示がないと、グループでの情報交流が進まない。
→「次、何したらいいん？」という発言が聞こえる。さらに知りたいことが出ていない。

【教員の意識改革】
・先生と一緒に学習を進めていく仲間の一人。
・先生の考えが正しい、よりよい答えとは限らない。
・想定外の展開があってもいいと考える。
・試行錯誤しながら進むことが総合の面白さ！

- 【毎時間の課題設定を意識する】
・何を？
・何のために？
・方法は？
・時間は何分必要？
- 【振り返りを充実させる】
①学んだこと・分かったこと・できたこと
②難しかったこと
③友達からの学び
④次の時間にすること
- 【話し合うプロセスを明示する】
①何のために(目的)
②何を(情報)
③どのように話し合い
④どんなゴール(成果)を目指すのか

第6学年 カテゴリ『歴史』 「備後国府」遺跡発掘プロジェクト ～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

【単元の目標】

備後国府跡の発掘調査に関わったり、備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組を行ったりすることを通して、自分が住む地域で生まれ受け継がれてきた歴史や文化を理解し、その伝承に取り組む人々の思いや願いに気付き、その伝承を願って地域の一人としてできることを考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

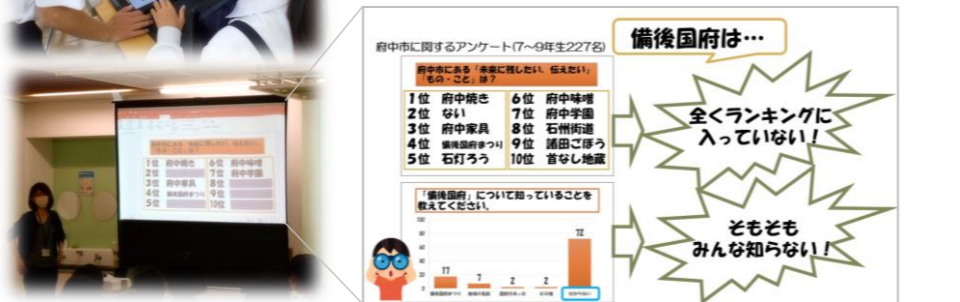
小単元①「私たちが府中市のためにできることは？」



年度当初に府中市教育政策課文化財室から、本校近くにある備後国府跡について、発掘調査の連携や史跡公園の設置協力のよびかけを受けていました。そのため、総合的な学習の時間では発掘調査を行ったり備後国府について調べたりする導入学習を行いました。

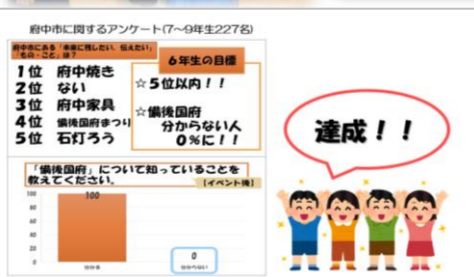
小単元②「府中市のルーツを探ろう」

いざ課題の設定場面になってみると、これまでの学習が外部からの呼びかけや、体験中心の学習で活動主義になってしまっており、課題が「自分事」になっていないことに気付きました。このことに危機感を感じた学年教員は、「自分事」として課題を発見するため、「理想」と「現実」のズレから課題をとらえさせることにしました。



自分たちが探究しようとする課題である「備後国府跡」がランキングに入っていないという事実子どもたちは衝撃を受け、強い課題意識をもつことができました。

小単元③「『備後国府』史跡をぶめよう」



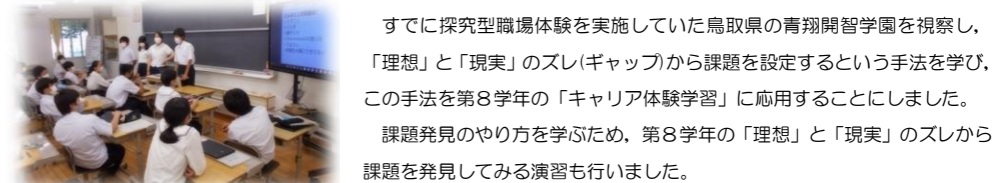
単元のまとめでは、府中市役所の会議で備後国府遺跡の公園計画をプレゼンすることができました。校内でも公園計画をプレゼンし、府中市に関するアンケートで備後国府の事を知らないと回答していた7・8年生に、自分たちの取組がどのくらい伝わったのかを検証したところ、9割以上の肯定的回答を得られました。

第8学年 カテゴリ『キャリア』 「働くとは何か」～働く人の思いや願いを掴み取れ！～

【単元の目標】

働く人々の思いや願いに出会う中で課題を見つけ探究することを通して、自らが社会で働く意義を理解するためには、一人一人が責任を自覚し、お互いに協力し合うことが大切であることに気付き、自分も社会の一員として社会のために進んで行動しようとするようにする。

小単元①「働くとは何か？」

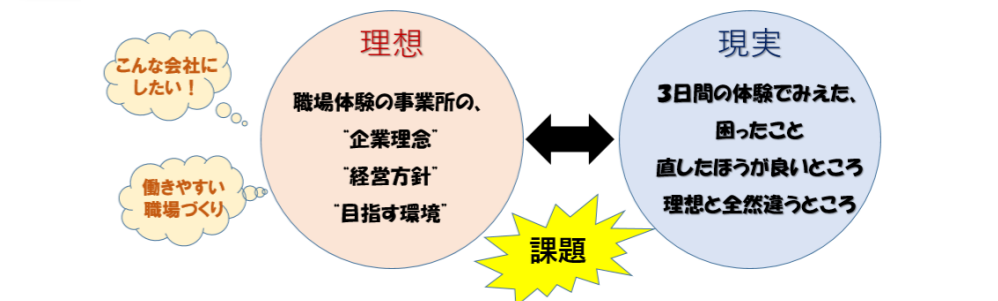


すでに探究型職場体験を実施していた鳥取県の青翔開智学園を視察し、「理想」と「現実」のズレ(ギャップ)から課題を設定するという手法を学び、この手法を第8学年の「キャリア体験学習」に応用することにしました。課題発見のやり方を学ぶため、第8学年の「理想」と「現実」のズレから課題を発見してみる演習も行いました。

小単元②「実際に働いてみよう！」



生徒は事前に職場体験先の「理想」をしらべ、3日間の体験期間中で体験先の「課題」を見付け出しました。



小単元③「事業所の課題を見つけ、解決策を提案しよう」



最終的に、体験先の事業所の代表者の方に課題の解決策を提案し、評価していただくという検証を行いました。どの代表者の方にも、「自分たちにはない発想があった」や「中学生という視点ながら、大変会社のためになる良い提案してくれた」と非常に良い評価をいただきました。

様々な活動が、各学年の特色ある学習を創り出しています！

カテゴリ『府中市にある人・もの・コト』
第3学年 味噌作り体験



カテゴリ『環境』
第4学年 ゴミの分解体験



カテゴリ『食』
第5学年 ごぼうの種まき



カテゴリ『SDGs』
第7学年 17の達成目標調べ



カテゴリ『個人研究』
第9学年 卒業論文発表会

